

糖尿病だより

2015年 2月
No.37

～臨床検査科より～ 尿糖と SGL2 阻害薬について

尿糖検査の目的は？

血糖値が 170～180mg/dL をこえると、尿に糖がでるようになります。糖尿病を良好にコントロールするため、食前だけでなく食後の尿糖検査でも陰性を目指します。

また初期の糖尿病を見つけるためには、食後に尿糖検査をすることが大切です。



尿糖の結果って？

尿中の糖の量によって、(-) ～ (4+) に分類されます。右は当院で使用している判定表ですが、大まかな尿糖の量を知ることができます。

自分で簡単にできる検査ですから、血糖コントロールのためにチェックしましょう。

(判定基準は施設により異なる場合があります)

判定	糖の量(mg / dL)
(-)	～50
(±)	50～
(1+)	100～
(2+)	200～
(3+)	500～
(4+)	1000～

姫路医療センターの判定表



SGLT2 阻害薬を服用中は尿糖の意味が異なります。

SGLT2 阻害薬を服用中は尿糖の意味が異なります。SGLT2 阻害薬は尿に糖を多く捨てることで血糖値を下げる新しい薬です。血糖値が下がっていても尿糖が多いので血糖コントロールの目安にはなりません。



糖尿病のコントロールには食事・運動などの生活習慣を変えることと、その継続が欠かせません。皆様の糖尿病療養に役立つ情報をこの「糖尿病だより」で発信していきます。



糖尿病療養指導スタッフ一同

国立病院機構 姫路医療センター